平成26年１月期　第２四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年９月13日

上 場 会 社 名	オーエス株式会社	上場取引所	東
コ ー ド 番 号	9637	URL	http://www.osgroup.co.jp
代　　表　　者	(役職名) 取締役社長	(氏名)	山内芳樹
問合せ先責任者	(役職名) 経理部長	(氏名)	矢崎秀成　(TEL) 06-6361-3554
四半期報告書提出予定日	平成25年９月13日	配当支払開始予定日	平成25年10月11日

四半期決算補足説明資料作成の有無　　：無
四半期決算説明会開催の有無　　：無

(百万円未満切捨て)

１．平成26年１月期第２四半期の連結業績（平成25年２月１日～平成25年７月31日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年１月期第２四半期	3,439	2.7	227	△14.1	147	△17.0	72	△10.7
25年１月期第２四半期	3,348	△5.7	265	△16.9	177	△20.4	81	△40.7

(注) 包括利益　26年１月期第２四半期　99百万円(　6.5%)　25年１月期第２四半期　93百万円(△24.0%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年１月期第２四半期	4.57	―
25年１月期第２四半期	5.12	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年１月期第２四半期	31,108	8,619	27.7
25年１月期	30,622	8,560	28.0

(参考) 自己資本　26年１月期第２四半期　8,619百万円　　25年１月期　8,560百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年１月期	―	2.50	―	2.50	5.00
26年１月期	―	2.50			
26年１月期(予想)			―	2.50	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：無

３．平成26年１月期の連結業績予想（平成25年２月１日～平成26年１月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,540	△0.5	620	△26.5	445	△32.9	250	△29.1	15.77

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：有

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：無

（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：有

②　①以外の会計方針の変更　　：無

③　会計上の見積りの変更　　：有

④　修正再表示　　：無

（注）詳細は、添付資料５ページ「（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご参照ください。

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年１月期２Ｑ	16,000,000株	25年１月期	16,000,000株
②　期末自己株式数	26年１月期２Ｑ	149,529株	25年１月期	147,046株
③　期中平均株式数（四半期累計）	26年１月期２Ｑ	15,852,316株	25年１月期２Ｑ	15,853,996株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項については、添付資料４ページ「（３）連結業績予想に関する定性的情報」をご参照ください。

（参考）個別業績予想

平成26年１月期の個別業績予想（平成25年２月１日～平成26年１月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,900	△1.2	410	△34.0	220	△32.0	13.88

（注） 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 ： 有

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 ……2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 ……2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 ……3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 ……4
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 ……5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 ……5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 ……5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 ……5
３．四半期連結財務諸表 ……6
（１）四半期連結貸借対照表 ……6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 ……8
四半期連結損益計算書 ……8
四半期連結包括利益計算書 ……9
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 ……10
（４）継続企業の前提に関する注記 ……11
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 ……11
（６）セグメント情報等 ……11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間（平成25年２月1日～平成25年７月31日）におけるわが国経済は、輸出環境の改善や経済対策効果などを背景に、企業収益が改善されるなど、景気回復に向けた明るい兆しが見え始めております。

このような経済環境のなかで、当社グループは、安定した経営・財務基盤を実現するべく、各事業の競争力強化と事業領域の拡大に努めてまいりました。

当第２四半期連結累計期間の成績は、売上高3,439,623千円と前年同期に比べ91,104千円（2.7%）の増収となりましたが、営業利益は227,673千円と前年同期に比べ37,434千円の減益、経常利益は147,254千円と前年同期に比べ30,154千円の減益、四半期純利益は72,436千円と前年同期に比べ8,707千円の減益となりました。

経営成績をセグメント別で見ると次のとおりであります。

（映画事業）

映画事業におきましては、邦画作品では「名探偵コナン 絶海の探偵（プライベート・アイ）」「真夏の方程式」「風立ちぬ」、洋画作品では「テッド」「アイアンマン３」「モンスターズ・ユニバーシティ」などの話題作品を上映いたしました。

本年４月に開業した「ＯＳシネマズ神戸ハーバーランド」（９スクリーン）は順調に稼働し、「ＯＳシネマズミント神戸」と合わせて、神戸地区１７スクリーンにて多彩な番組編成を行ってまいりました。「ＯＳシネマズ神戸ハーバーランド」におきましては、開業にあわせ、直営館初となる自動券売機を導入し、運営の効率化を図ってまいりました。

また、社会貢献活動といたしまして、「阪急阪神　未来のゆめ・まちプロジェクト」に参画し、特別上映会の実施や、中学生を対象とした職業体験の受け入れを通じて心豊かな地域文化の確立と次世代の育成に取り組んでまいりました。

売上高は1,234,925千円と前年同期に比べ87,156千円（7.6%）の増収となりましたが、「ＯＳシネマズ神戸ハーバーランド」の開業に伴う諸経費の増加により、セグメント利益（営業利益）は42,186千円と前年同期に比べ18,305千円の減益となりました。

（不動産賃貸・販売事業）

不動産賃貸におけるオフィスビル市況は、東京都心５区ではオフィスビルの新規供給が一巡し、本年７月末の空室率は8.3%と横ばいで推移したものの、大型ビルが竣工した大阪ビジネス地区では空室率が10.7%と上昇し、賃料相場は依然厳しい状況が継続しております。

このような状況のなか、不動産賃貸事業におきましては、新規テナントの獲得に努めた結果、当第２四半期連結累計期間末における保有ビルの稼働率は97.7%と高稼働を維持することができました。また、設備面におきましては、空調更新工事やＬＥＤ化工事を実施するなど、環境対策に取り組んでまいりました。

不動産販売事業におきましては、共同事業者と推進しております分譲マンション「プレージアブラン東園田」は本年２月より販売を開始し、来年１月の竣工に向け鋭意取り組んでおります。

また、本年１月に取得した大阪府守口市の分譲マンション用地につきましては、事業化に向け準備を進めております。

売上高は1,422,338千円と前年同期に比べ47,846千円（3.3%）の減収となり、セグメント利益（営業利益）は455,212千円と前年同期に比べ39,845千円の減益となりました。

（ホテル事業）

大阪のホテル業界は、国内旅行やビジネス利用の宿泊需要を下支えに、訪日旅行者も回復傾向にあり、堅調に推移しております。

このような状況のなか、「梅田ＯＳホテル」におきましては、一部客室の改装を行うとともに、高速無線ＬＡＮサービスを導入するなど、快適な空間の提供に取り組んでまいりました。また、インターネット宿泊サイトにおいて、お客様のニーズに合わせたプランを提供するとともに、残室管理を徹底し、稼働率の向上に努めてまいりました。

売上高は327,134千円と前年同期に比べ20,580千円（6.7%）の増収となり、セグメント利益（営業利益）は47,073千円と前年同期に比べ27,869千円の増益となりました。

（飲食事業）

飲食業界は、景気回復の兆しから消費マインドの持ち直しが期待されるものの、消費者の節約志向は依然根強く、厳しい経営環境が継続しております。

このような状況のなか、飲食事業におきましては、新メニューの提供や販売促進活動の実施により顧客満足度の向上に努めてまいりました。

売上高は198,710千円と前年同期に比べ14,373千円（7.8%）の増収となり、セグメント利益（営業利益）は12,461千円と前年同期に比べ2,208千円の増益となりました。

（その他事業）

アミューズメント業界は、個人消費の伸び悩みに加え、スマートフォンの普及によるゲームの多様化が進んだことにより、厳しい状況が継続しております。

このような状況のなか、「ｎａｍｃｏ三宮店」は昨年に実施したリニューアルの効果により、堅調に推移いたしました。

売上高は256,514千円と前年同期に比べ16,840千円（7.0%）の増収となり、セグメント利益（営業利益）は39,110千円と前年同期に比べ4,470千円の増益となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第２四半期連結会計期間末の財政状態につきましては、前連結会計年度末と比較して総資産は485,525千円の増加となりました。これは主に現金及び預金486,079千円の減少がありましたが、販売用不動産400,986千円、有形固定資産284,760千円、投資有価証券104,335千円、差入保証金100,299千円及び無形固定資産68,037千円の増加によるものであります。

負債につきましては426,900千円の増加となりました。これは主に長期借入金1,122,343千円及び未払法人税等230,646千円の減少がありましたが、短期借入金1,685,759千円及び買掛金51,466千円の増加によるものであります。

純資産につきましては58,624千円の増加となりました。これは主に利益剰余金32,803千円及びその他有価証券評価差額金27,055千円の増加によるものであります。

②キャッシュ・フローの状況

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は715,180千円となり、前連結会計年度末に比べ486,079千円の減少となりました。当第２四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の減少は279,435千円(前年同期の資金の減少は490,496千円)となりました。主な増加要因は、減価償却費353,413千円及び税金等調整前四半期純利益117,842千円、主な減少要因はたな卸資産の増加額408,842千円、法人税等の支払額266,559千円及び差入保証金の増加額100,299千円であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は728,842千円(前年同期の資金の減少は88,229千円)となりました。主な要因は、有形固定資産の取得による支出656,657千円であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の増加は522,198千円(前年同期の資金の増加は51,539千円)となりました。主な増加要因は、短期・長期借入れによる収入2,540,000千円、主な減少要因は、短期・長期借入金の返済による支出1,976,584千円であります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

上半期の実績に下半期の予想を加えた通期連結業績予想につきましては、今後の経済環境の変化や各事業の進捗状況を勘案した結果、下記のとおり修正しております。

平成26年１月期通期連結業績予想数値の修正（平成25年２月１日～平成26年１月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,920	715	530	315	19.87
今回修正予想(B)	8,540	620	445	250	15.77
増減額(B－A)	△380	△95	△85	△65	―
増減率(%)	△4.3	△13.3	△16.0	△20.6	―
(ご参考)前期実績(平成25年１月期)	8,582	843	663	352	22.24

(参考) 平成26年１月期通期個別業績予想数値の修正（平成25年２月１日～平成26年１月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,360	480	285	17.98
今回修正予想(B)	7,900	410	220	13.88
増減額(B－A)	△460	△70	△65	―
増減率(%)	△5.5	△14.6	△22.8	―
(ご参考)前期実績(平成25年１月期)	7,993	620	323	20.41

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第１四半期連結会計期間より、平成25年２月１日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第２四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年１月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年７月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,201,259	715,180
売掛金	255,535	268,916
販売用不動産	1,618,289	2,019,275
商品	8,484	14,441
貯蔵品	1,619	3,518
前払費用	84,310	125,208
繰延税金資産	67,362	34,845
その他	12,927	47,911
貸倒引当金	△7,729	△7,761
流動資産合計	3,242,060	3,221,535
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	22,781,200	23,277,731
減価償却累計額	△12,523,080	△12,729,125
建物及び構築物（純額）	10,258,120	10,548,605
機械装置及び運搬具	245,809	313,701
減価償却累計額	△111,309	△123,516
機械装置及び運搬具（純額）	134,499	190,185
工具、器具及び備品	740,433	888,879
減価償却累計額	△638,033	△658,585
工具、器具及び備品（純額）	102,399	230,293
土地	15,073,710	15,073,710
建設仮勘定	189,303	－
有形固定資産合計	25,758,033	26,042,794
無形固定資産		
ソフトウエア	27,575	95,895
その他	10,849	10,566
無形固定資産合計	38,424	106,462
投資その他の資産		
投資有価証券	397,137	501,473
長期前払費用	204,758	192,117
差入保証金	511,542	611,842
建設協力金	415,136	419,202
繰延税金資産	8,694	9,612
その他	65,424	25,196
投資損失引当金	△38,000	△38,000
投資その他の資産合計	1,564,693	1,721,444
固定資産合計	27,361,152	27,870,701
繰延資産		
社債発行費	19,424	15,924
繰延資産合計	19,424	15,924
資産合計	30,622,636	31,108,162

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成25年１月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年７月31日）
負債の部		
流動負債		
買掛金	178,792	230,259
短期借入金	3,422,674	5,108,433
未払金	110,846	160,095
未払費用	328,574	280,743
未払法人税等	272,583	41,937
未払消費税等	36,916	9,091
賞与引当金	43,660	42,604
その他	230,387	314,576
流動負債合計	4,624,435	6,187,742
固定負債		
社債	1,700,000	1,700,000
長期借入金	9,481,914	8,359,571
長期預り保証金	2,293,466	2,257,517
繰延税金負債	1,358,451	1,348,783
再評価に係る繰延税金負債	2,420,920	2,420,920
退職給付引当金	182,994	214,548
固定負債合計	17,437,748	16,301,341
負債合計	22,062,183	22,489,083
純資産の部		
株主資本		
資本金	800,000	800,000
資本剰余金	66,506	66,506
利益剰余金	4,340,865	4,373,669
自己株式	△91,857	△93,091
株主資本合計	5,115,514	5,147,084
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	70,453	97,509
土地再評価差額金	3,374,484	3,374,484
その他の包括利益累計額合計	3,444,938	3,471,994
純資産合計	8,560,453	8,619,078
負債純資産合計	30,622,636	31,108,162

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年２月１日 至 平成24年７月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年２月１日 至 平成25年７月31日）
売上高	3,348,519	3,439,623
売上原価	2,665,797	2,787,872
売上総利益	682,722	651,750
一般管理費	417,614	424,077
営業利益	265,108	227,673
営業外収益		
受取利息	4,250	4,541
受取配当金	2,887	3,561
協賛金収入	3,047	3,047
その他	1,351	4,215
営業外収益合計	11,537	15,367
営業外費用		
支払利息	89,377	86,146
その他	9,860	9,640
営業外費用合計	99,237	95,786
経常利益	177,408	147,254
特別損失		
OSシネマズ神戸ハーバーランド開業費用	－	17,586
固定資産除却損	38,319	11,825
特別損失合計	38,319	29,411
税金等調整前四半期純利益	139,089	117,842
法人税、住民税及び事業税	65,277	38,441
法人税等調整額	△7,332	6,965
法人税等合計	57,945	45,406
少数株主損益調整前四半期純利益	81,144	72,436
四半期純利益	81,144	72,436

(四半期連結包括利益計算書)
(第２四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第２四半期連結累計期間 (自 平成24年２月１日 至 平成24年７月31日)	当第２四半期連結累計期間 (自 平成25年２月１日 至 平成25年７月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	81,144	72,436
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12,245	27,055
その他の包括利益合計	12,245	27,055
四半期包括利益	93,389	99,491
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	93,389	99,491
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：千円）

	前第２四半期連結累計期間 （自 平成24年２月１日 至 平成24年７月31日）	当第２四半期連結累計期間 （自 平成25年２月１日 至 平成25年７月31日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	139,089	117,842
減価償却費	342,905	353,413
貸倒引当金の増減額（△は減少）	2,138	32
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△5,253	31,553
受取利息及び受取配当金	△7,138	△8,103
支払利息	89,377	86,146
有形固定資産除却損	33,747	11,825
売上債権の増減額（△は増加）	△55,672	△13,380
たな卸資産の増減額（△は増加）	△854,335	△408,842
差入保証金の増減額（△は増加）	－	△100,299
長期前払費用の増減額（△は増加）	9,184	6,897
仕入債務の増減額（△は減少）	33,139	51,466
未払金及び未払費用の増減額（△は減少）	△41,064	△57,819
未払消費税等の増減額（△は減少）	△30,971	△27,824
預り保証金の増減額（△は減少）	73,497	△35,949
その他	△125,216	62,242
小計	△396,573	69,201
利息及び配当金の受取額	3,154	4,099
利息の支払額	△89,421	△86,176
法人税等の支払額	△7,656	△266,559
営業活動によるキャッシュ・フロー	△490,496	△279,435
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△99,593	△656,657
有形固定資産の売却による収入	22,063	－
無形固定資産の取得による支出	△10,699	△1,935
投資有価証券の取得による支出	－	△76,966
その他	－	6,717
投資活動によるキャッシュ・フロー	△88,229	△728,842
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	120,000	140,000
短期借入金の返済による支出	△140,000	△120,000
長期借入れによる収入	1,650,000	2,400,000
長期借入金の返済による支出	△1,538,359	△1,856,584
自己株式の取得による支出	△426	△1,234
配当金の支払額	△39,675	△39,983
財務活動によるキャッシュ・フロー	51,539	522,198
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△527,187	△486,079
現金及び現金同等物の期首残高	1,247,534	1,201,259
現金及び現金同等物の四半期末残高	720,347	715,180

（４）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

（６）セグメント情報等

（セグメント情報）

Ⅰ 前第２四半期連結累計期間(自 平成24年２月１日 至 平成24年７月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	映画事業	不動産賃貸・販売事業	ホテル事業	飲食事業	その他事業	計	調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額(注２)
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	1,147,769	1,470,185	306,553	184,337	239,674	3,348,519	―	3,348,519
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	―	92,442	―	―	―	92,442	△92,442	―
計	1,147,769	1,562,627	306,553	184,337	239,674	3,440,962	△92,442	3,348,519
セグメント利益	60,491	495,058	19,203	10,252	34,639	619,645	△354,536	265,108

（注）１．セグメント利益の調整額△354,536千円には、セグメント間取引消去△1,577千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△352,959千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ 当第２四半期連結累計期間(自 平成25年２月１日 至 平成25年７月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	映画事業	不動産賃貸・販売事業	ホテル事業	飲食事業	その他事業	計	調整額（注１）	四半期連結損益計算書計上額(注２)
売上高								
(1) 外部顧客への売上高	1,234,925	1,422,338	327,134	198,710	256,514	3,439,623	―	3,439,623
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	―	78,356	―	―	―	78,356	△78,356	―
計	1,234,925	1,500,695	327,134	198,710	256,514	3,517,980	△78,356	3,439,623
セグメント利益	42,186	455,212	47,073	12,461	39,110	596,044	△368,370	227,673

（注）１．セグメント利益の調整額△368,370千円には、セグメント間取引消去△2,055千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△366,314千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。